

文化活動の状況

Ⅲ 文化活動の状況

ここでは、市民会館・公民館、図書館、体育館及び屋外体育施設を除く社会教育の諸活動を述べます。この分野には社会教育全般の事務と文化財関係、青少年健全育成関係の事務事業があります。

1 奨励・援助

市民が行う社会教育の活動に対して、要望に基づいて各種の援助を行いました。

(1) 社会教育関係団体の状況

分類	団体名	責任者	会員数	組織及び活動
少年 団体	ボーイスカウト	森田 治男	244人	ボーイスカウト福生第1団 " 第2団
	ガールスカウト			ガールスカウト東京191団
	福生市連合育成会			ビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊、 シニア隊、ローバー隊 訓練活動(キャンプ)奉仕活動等
成人 団体	福生市文化協会	小林 菊三	3,629人	加盟団体128 市民文化祭、文化教室、発表会 文化団体の育成活動補助
	福生市公立小中学校 PTA連合会	厚谷まゆみ	4,545人	加盟団体 10 球技大会、講演会 非行化防止パトロール
	福生市体育協会	斎藤 翼	4,500人	加盟団体22 市民総合体育大会、都民体育大会 各種スポーツ大会

2 第32回市民文化祭

(1) 趣旨

ア 市内で行われている文化諸活動の成果の発表の場を作り、今後の発展を図る。

イ 未参加者の文化活動への参加、各種活動の育成を促す。

(2) 主催

福生市、福生市教育委員会、福生市文化協会

(3) 実行組織

実行委員会構成

- ア 文化協会役員
- イ 出展、出演団体の代表者
- ウ 教育委員会社会教育課、市民会館・公民館職員

(4) 期日

10月27日(土)・28日(日)・11月3日(祝)・4日(日)・10日(土)・11日(日)・17日(土)・18日(日)

(5) 場所

展示関係 市民会館、公民館、市民会館前庭、さくら会館

演示関係 市民会館大・小ホール、公民館、さくら会館、福庵

(6) 運営方針

- ア 同一種目については主管団体が処理する。
- イ 個人及び団体、一般からの出展・出演については、すでに主管団体があるものはその団体が、新種目を行う団体はその団体が主管し、個人のものは教育委員会が主管する。

(7) 参加内容の限定

- ア 市民の活動であること。
- イ 市民を対象とした文化事業であること。

(8) 参加対象

全市民（在住、在学の個人及び団体）とし一人一点に限定

(9) 全般的事項

- ア 文化祭実施要綱の決定
- イ 開場式 11月3日(祝) 午前9時30分～

市民会館小ホール

ウ 準備過程

(ア) 広報

- a 公募5月1日発行の広報ふっさ

申込締切5月31日

- b 日程内容の周知

広報10月15日号

ポスター10月初旬

- c プログラム5000部

(イ) 案内状 総合プログラムといっしょに実行委員会で送る。

主管団体毎の招待状は各団体で行う。

(ウ) 主管団体必要物品

- a 指定様式に記入提出

b その他必要品

(エ) 役員、実行委員を委嘱する。

(オ) 委託料の交付 840,000円

(10) 実行委員会日程

第1回 6月14日(木) 午後7時30分 市民会館第5集会室

第2回 6月27日(水) 午後7時30分 市民会館第5集会室

第3回 7月 5日(金) 午後7時30分 市民会館第5集会室

第4回 9月26日(水) 午後7時30分 市民会館第5集会室

第5回 12月 6日(木) 午後7時30分 市民会館第5集会室

(11) 実施内容

平成13年度参加団体

演示 156団体 内行政関係3団体 個人 5人

展示 68団体 内行政関係1団体 個人 5人

計 224団体・個人10人

※ 期間中の延べ参加者数4,118人

3 成人式

趣旨 新たに社会の仲間入りをする成人者を祝い、励まし、成人者が改めて成人する意味、意義を確認しあう場とする。また今後、社会の担い手として、独立した主体者として生活していくための機会とする。

主催 福生市、福生市教育委員会

日時 平成14年1月14日 開式午後1時

場所 福生市民会館大ホール

実施内容 式典・開式、国歌斉唱、主催者挨拶、祝辞、来賓紹介、主催者紹介、祝賀演奏、
成人者代表による謝辞、たる酒鏡割り、福生市の歌
演奏・福生吹奏楽団
集い(実行委員による企画)・立食パーティー、チャリティ抽選会、
なつかしの給食コーナー

出席状況

区 分	男	女	合 計
対 象 者	348人	362人	710人
出 席 者	215人	242人	457人
出 席 率	61.8%	66.9%	64.4%

4 社会教育委員の活動

社会教育委員

社会教育委員制度は、社会教育法第15条に基づいて設置された市民参加の審議機関であり、当市では昭和37年以来、任期2年定数10名で構成されている。各委員は社会教育全般にわたり調査、研究、計画の立案及び教育委員会からの諮問に、市民の立場から教育長を通じて教育委員会に答申する。

会議等開催状況

開 催 日	場 所	会 議 名	内 容
平成13年4月5日	商工会館202号室	社会教育委員の会議	辞令交付 正副議長選出 市町村社会教育連絡協議会定期総会 について
4月21日	東京都立多摩 社会教育会館	市町村社会教育委員 連絡協議会定期総会 及び全体研修会	平成12年度事業報告・収入支出決算報告 平成13年度事業計画・収入支出予算 " 役員選出 講演 『これからの文教施策の動向と社会教育委員の役割』 政策研究大学院大学教授 今野雅裕氏
5月14日	第四庁舎2階 会議室	社会教育委員の 会議	市町村社会教育委員連絡協議会第一ブロック 委員研修会について
6月26日	第四庁舎2階 会議室	社会教育委員の 会議	平成13年度社会教育関係団体に対する補助金の 交付についてほか
9月8日	商工会館3階 ホール	都市社連協第一 ブロック研修会	主 題 新世紀を創造する社会教育の課題 演 題 郷土史好きがみた貧困と教育 講 師 福生市文化財保護審議会会長 高崎勇作氏
9月20日～21日	水戸市	関東甲信越静社会 教育研究大会	主 題 「21世紀のとびらを開く社会教育の創造」 分科会「生涯学習とまちづくり、家庭教育・青少年 教育、男女共同参画社会、自然理解と 環境保全、ボランティア活動、生涯スポーツ ・文化活動、人権と国際理解」
10月26日	中央体育館2階 会議室	社会教育委員の 会議	平成12年度社会教育費の決算状況について 平成13年度社会教育関係事業の進捗状況につ いてほか
11月17日	実践女子大学 香雪記念館	都市社連協交流 大会	1 インタビューダイアローグ 講演「昆虫と野鳥からみた多摩の自然」 -地域と連携した市民活動と環境教育- 講師 矢島 稔氏 インタビュー 森下 強氏 2 和太鼓演奏会
11月26日	筑波宇宙 センター	社会教育委員日帰り 視察研修	筑波宇宙センターの視察
平成14年1月19日	東京都立多摩 社会教育会館	市町村社会教育委員 連絡協議会全体研修会	対 談「地域の教育力を考える～児童虐待の視角～」 講 師「関戸克子氏 (子どもの虐待防止センター相談員) 久田邦明氏(神奈川大学講師)」
2月20日	商工会館3階 会議室	社会教育委員の会議	平成14年度社会教育計画(案)についてほか

5 生涯学習について

福生市生涯学習推進計画に基づき、「市民が学ぶ楽しさに気づき、学習活動に意欲的に取り組み、学習成果が多様な分野で生かされ、ゆとりと生きがいのある生活を送れる社会、さらに文化がはぐくまれ、一人ひとりが健康でいきいき輝く社会」となるよう努力をしてきた。公民館、図書館、体育館、屋外体育施設等の社会教育施設は、中心となってその課題を担うものとして計画的に活動してきた。

6 文化財保護事業

本市では、昭和48年に文化財保護条例を制定し、その後、昭和54年の改正によって文化財保護行政の充実と強化をはかってきたが、さらに平成3年4月1日から登録文化財制度の導入を行い、より多くの文化財を保護するための行政の推進をはかっている。その結果、平成13年度末では、市登録文化財は60件となった。この市登録文化財の中から、特に貴重な文化財を市指定文化財として保護しているが、13年度末では、市指定文化財は32件となっている。

文化財保護行政の役割は、文化財を文化遺産として後世に伝えるという保存事業と文化財保護思想の普及、さらに市民が文化的向上に資するための資料として活用するという活用事業に分けることができる。これらの事業は、市民一人一人の保護意識が高揚してはじめて成果のあがるものであり、そのため、文化財保護の理解の推進と文化財の活用を目的として様々な学習の機会の設定に取り組み実施した。また、日々進行する地域の開発・都市化とそれに伴う生活様式の変化による文化財の変容と消失が進むなかで、文化財総合調査を行い、所在の確認と記録の作成を行った。

市史の普及事業も文化財保護行政の一つとして実施しているが、平成7年度より市史編纂事業で作成した刊行物（市史本編・上下2巻、資料編・考古ほか10編及び研究誌・17号まで）、さらに市史編纂で収集した近世文書ほかの文献類、マイクロフィルム（179, 650コマ）などの保存と管理、刊行物の頒布、情報提供等の業務を実施している。13年度は管理業務、情報提供業務をすすめる一方、普及事業として「市史に関する学習会」、「史跡見学会」等を開催して市史の普及と活用を推進した。

郷土資料室は、文化財保護思想普及の場としての展示活動、文化財保管の場としての文化財の収集、そして収集した資料を情報として市民への提供等の活動を行っている。特に、収集した資料の保管を適正に行い、また、学校教育、社会教育への提供、さらに市民、研究者への情報の提供をより迅速に行えるようコンピューターによる資料管理を推進し、資料の活用として特別展示を開催した。

なお、平成13年度は企画展3回、特別展1回と記念講演会を2回開催した。また、普及事業として無形民俗文化財記録映画(ビデオテープ30分)の放映を郷土資料室で行った。

また、来室者のために、収蔵資料閲覧システムを設置し、利用に供した。

(1) 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、市教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議し、並びにこれらの事項について委員会に建議するために7人の委員が委嘱されている。

(任期 平成13年7月1日から平成15年6月30日まで)

会議の開催

平成13年7月7日

- ア 委嘱状交付
- イ 正・副会長選出
- ウ 平成12年度事業報告について
- エ 横田基地内の旧陸軍建物調査について

平成14年2月9日

- ア 市指定文化財について
- イ 企画展示について
- ウ 郷土誌フェアについて
- エ 収蔵品の来館者システムの設置について
- オ 企画展示等のアンケートについて

平成14年3月23日

- ア 平成14年度文化財保護事業計画について
- イ 平成13年度郷土資料室展示開催状況について
- ウ 調査報告書の刊行について
- エ 市指定文化財の答申について

(2) 文化財保護事業の実施状況

ア 文化財総合調査事業の実施状況

古文書調査 — 古文書の整理・分類

民俗調査 — 伝統的な衣生活調査(森田家寄贈ほか)・調査員 萩原紀子氏(郷土資料室臨時職員)

民具調査 — 郷土資料室収蔵の民具を調査・調査員 岡部悦子氏(郷土資料室臨時職員)

イ 玉川上水に発生するホタルの研究委託

昭和46年度以来、玉川上水に自然発生するホタルの研究を福生ホタル研究会に委託している。13年度も引き続き研究を委託した。

(3) 文化財保護の普及

ア 市史の普及・学習会

福生市史を読む（近世）

宿帳からみた福生の大正時代

平成13年9月22日

講師 保坂 和子氏（地域の歴史と文化を考える会、ゆずりは会員）

福生市史を読む（近世）

大正、昭和戦前期の福生－ふくらんだ地域開発への期待－

平成13年9月29日

講師 梅田定宏氏（東海大学菅生高等学校教諭）

福生市史を読む（近世）

みずくらいどを考える－玉川上水の開削をめぐる－

平成13年11月17日

講師 比留間博氏（玉川上水研究者）

イ 古文書学習会

古文書の歴史、解読のための学習会を開催した。

全8回 平成13年5月26日、6月2日、8月25日、9月1日、
12月1日、12月8日、平成14年3月2日、3月9日

講師 高崎勇作氏（福生市文化財保護審議会委員）

(4) 郷土資料室の事業実施状況

ア 資料の収集（購入・寄贈）

購入－古書籍等 12件 19点

寄贈－ミキノクチ等 12件 143点

イ 資料の消毒

郷土資料室内収蔵庫（第1、第2）内等消毒を業者委託により、7月2日に行った。

消毒の概要は次のとおりである。

場所 第1収蔵庫（92.6㎡）、第2収蔵庫（28.2㎡） 北田園倉庫（127.5㎡）

さくら会館内倉庫 (38.00m²)

対象資料及び目的 民俗、歴史、美術、自然資料の殺虫、殺菌、殺卵等
ウ 展示、学習会等の文化財保護普及事業

平成13年度は特別展及び記念講演会を1回、企画展を3回開催した。

(ア) 特別展示

「多摩の微笑仏ー木食白道ー」

江戸時代の終わり頃、各地を歩き、修行した僧侶「木食白道」の足跡を探り、多摩地方に残した木彫の仏像や版画等を展示した。

期 間 平成13年10月5日から11月25日

記念講演会 平成13年10月13日「木食白道の生涯と廻国の足跡」

講 師 古明地義勇氏 (塩山市文化財保護審議会委員)

(イ) 企画展示

「平和のための戦争資料展」

戦争の記憶が薄らいでゆくなかで、当時残された資料を展示し、戦争を見つめ直し尊い平和について考えていただく展示。旧日本軍多摩飛行場にゆかりのある資料も展示した。

期 間 平成13年7月6日から9月30日

(ウ) 企画展示

「ミキノクチ展」

市内で製作されたミキノクチとアワボ・ヒエボやオッカドボーといった西多摩地方の小正月の飾りものを中心に展示し、伝統的なお正月の風習と人々の暮らしを紹介した。

期 間 平成13年12月4日から平成14年1月27日

(エ) 企画展示

「復活の日本刀ー研磨された接収刀剣・赤羽刀ー」

平成11年度に国から譲与された赤羽刀のうち、研磨された刀(武州下原刀含む)を展示し、よみがえった輝きと、伝統文化を鑑賞していただいた。

期 間 平成14年2月5日から4月7日

記念講演会 平成14年2月16日

講 師 小島政孝氏 (小島資料館館長)

エ 出版物

郷土資料室年報第21号 A4判、55頁、500部

文化財総合調査報告書 第31集「熊川分水」A4判、173頁、1,000部

展示資料解説書「多摩の微笑仏－木食白道－」A4判、36頁、1,200部

(ア) 市民、団体、研究者等への情報提供、援助、奨励

文化財の保存と活用に関わる学習、研究等を行っている市民、団体及び研究者、また文化財に関する情報を必要とする個人、団体等への情報提供等を行った。

(イ) 多摩郷土誌フェアへの参加

多摩地域の各市町村が発刊している郷土誌関係の刊行物を一堂に展示して、紹介と普及を図ることを目的として開催するもので、今回で14回を数えた。(主催は東京都市社会教育課長会・文化財部会)

期 間 平成14年1月25日(金)から27日(日)まで

会 場 立川ビル・「ルミネ立川店ウィルプラザ(6階)」(立川市)

7 青少年健全育成

青少年が社会の一員として愛され、良い環境の中で心身共に健やかに成長することを目指し、好ましくない環境の浄化に努めると共に諸施策の推進を図っていく。

(1) 青少年問題協議会

青少年問題協議会は、市長の付属機関であり、青少年の健全育成に関する総合的施策の樹立について、調査審議し関係行政機関の相互連絡調整及び意見等を求める機関である。

委員数27人

日 時	会 議 内 容
7月6日 午前10時から	1 副会長の選任について 2 平成13年度福生市青少年健全育成夏季対策事業について 3 平成13年度福生市善行少年表彰について 4 「家庭の日」図画・作文の実施について 5 福生市青少年の意見発表大会の実施について 6 関係機関より報告、情報交換
14年2月20日 午後2時から	1 平成14年度福生市青少年健全育成事業計画について 2 青少年問題講演会について 3 関係機関からの報告、情報交換

(2) 青少年問題地区委員長会

地域社会にあって、青少年の健全育成を図るため青少年問題協議会において調整した施策に協力し、地域の実情に応じた事業を実施し、地区委員会相互が連絡・協力して社会環境の浄化を図っていく。

開催日	会議名	会議内容
4月4日	地区委員長会	第10回ふっさ輝きフェスティバル準備、活動報告、活動計画 他
4月11日	理事会	〃
4月18日	地区委員長会	〃
4月24日	理事会	〃
5月9日	地区委員長会	〃
5月16日	理事会	〃
5月19日	第10回ふっさ輝きフェスティバル前日準備	
5月20日	第10回ふっさ輝きフェスティバル(多摩川中央公園)	
5月30日	理事会	フェスティバルのまとめと反省 役員体制 他
6月2日	地区委員長会	新旧地区委員長歓送迎会 フェスティバルまとめと反省 他
6月13日	地区委員長会	フェスティバルのまとめと反省 環境浄化運動、夜間一斉パトロール 他
7月4日	理事会	環境浄化運動、夜間一斉パトロール 視察研修について 他
7月11日	地区委員長会	〃
8月1日	理事会	〃 軽スポーツ&とん汁会準備 他
8月21日	地区委員長会	〃
8月25日	夜間一斉パトロール(市内全域)	
9月5日	理事会	パトロールまとめと反省 視察研修 軽スポーツ&とん汁会 環境浄化運動 他
9月12日	地区委員長会	〃
10月3日	理事会	〃
10月10日	地区委員長会	視察研修まとめと反省 第9回軽スポーツ&とん汁会準備 環境浄化運動 他
10月17日	理事会	第9回軽スポーツ&とん汁会準備 環境浄化運動 他
10月23日	観察研修(久里浜少年院)	
10月25日	地区委員長会	第9回軽スポーツ&とん汁会準備 環境浄化運動 他
10月30日	理事会	〃
11月7日	地区委員長会	〃
11月13日	理事会	〃
11月17日	第9回軽スポーツ&とん汁会(多摩川中央公園)前日準備	
11月18日	第9回軽スポーツ&とん汁会(多摩川中央公園)	
12月5日	地区委員長会	軽スポーツ&とん汁会まとめと反省 成人式 他
12月12日	理事会	環境浄化運動 成人式 他
1月14日	成人式出席、祝い酒コーナーの実施、新年会	
2月6日	理事会	環境浄化運動 成人式のまとめと反省 来年度事業計画 他
2月13日	地区委員長会	環境浄化運動 成人式のまとめと反省 来年度事業計画 他
3月6日	理事会	第11回ふっさ輝きフェスティバル準備 補助金事務手続き 他
3月13日	地区委員長会	〃 〃
3月27日	理事会	第11回ふっさ輝きフェスティバル準備 他

(3) 青少年育成地区委員会実績

地 区 名	委員数	児童生徒数	主 な 活 動	補 助 金 額
熊川住宅	6	77人	ラジオ体操、もちつき大会ほか	49,240円
南	17	78	夏祭り、ふれあい広場ほか	49,450
内出	18	105	ミニ運動会、もちつき大会ほか	54,970
武蔵野	41	155	ラジオ体操、もちつき大会ほか	65,200
福東	21	283	芋煮会、もちつき大会ほか	91,380
南田園一丁目	24	131	夏まつり、キャンプほか	60,290
鍋一	12	198	夏まつり、もちつき大会ほか	73,990
鍋二	32	271	歩け歩け大会、もちつき大会ほか	88,920
玉川台	15	30	ラジオ体操、もちつき大会ほか	39,680
富士見台	6	128	キャンプ、もちつき大会ほか	59,680
福栄	8	135	ホテルまつり参加、キャンプほか	61,110
熊牛	40	245	ホテル祭り絵画展、夕涼み会ほか	83,610
南田園三丁目	5	105	もちつき大会、子ども会歓送迎会ほか	54,970
南田園二丁目	8	108	ラジオ体操、もちつき大会ほか	55,580
牛一	10	95	盆踊り、ラジオ体操ほか	52,930
牛二	29	190	かぶと虫の飼育、ラジオ体操ほか	72,360
原ヶ谷戸	30	292	夏まつり、ボーリング大会ほか	93,220
志茂一	34	271	盆踊り、どんど焼ほか	88,920
志茂二	23	164	夏まつり、子ども会クリスマス会ほか	67,040
本町一	4	41	祭礼・盆踊り、もちつき大会ほか	41,880
本町二	12	27	ボーリング大会、もちつき大会ほか	39,070
本町三	24	21	祭礼・盆踊り、もちつき大会ほか	37,840
中央	5	31	川遊び、親子運動会ほか	39,840
本町六	16	52	祭礼・金魚すくい、もちつき大会ほか	44,130
本町七	18	222	ハイキング、ボーリング大会ほか	78,900
本町八第一	34	321	バーベキュー大会、子ども会歓送迎会ほか	99,150
本町八第二	27	361	もちつき大会、クリスマス会ほか	107,330
武蔵野台一丁目	43	370	川遊び、いもほり大会ほか	109,170
加美平住宅	6	139	青空コンサート、ラジオ体操ほか	61,930
永田	20	194	キャンプ、もちつき大会ほか	73,170
長沢	16	203	親子運動会、ラジオ体操ほか	75,020
加美一	8	41	防犯映画会、どんど焼きほか	41,880
加美二	20	321	ラジオ体操、どんど焼きほか	99,150
合 計	632	5,405		2,111,000

(4) 平成13年度青少年対策事業

ア 善行少年表彰

福生市善行少年表彰実施要綱に基づき（第一条 少年でその行為が他の模範となると認められるものを表彰し、広く少年の公德心の高揚と、より良き社会環境を作り、少年の健全な育成を図ることを目的とする。）3人に対し表彰を行った。

表彰を受けたのは、須崎 綾さん（福生一中3年）、松原幸毅（福生二中2年）は、福生消防少年団での社会福祉等の活動が、郡司沙苗さん（福生一中2年）は、町会会館の管理活動が表彰の事由となった。

イ 「家庭の日」図画・作文募集

「家庭の日」に対する関心を高め、家庭の大切さを訴えるため、市内の小中学生を対象に図画・作文を募集した。入選作品についてはプチギャラリーに展示した。

募集期間 平成13年7月から9月

応募者数 図画 = 318点 作文 1点

入選者 図画 一席 中楠 麻美 福生第二小学校4年

二席 井出 まゆみ 福生第四小学校4年

二席 天野 絵里 福生第五小学校4年

佳作 図画 25点

作文 二席 大野 貴史 福生第四小学校4年

ウ 子ども議会（教育委員会版）の実施

市内各小学校の児童の代表に自分の住んでいる街や学校に対する希望や意見を発信してもらう場として、子ども議会（教育委員会版）を実施した。

日 時 平成13年6月29日（土）午後2時から

場 所 市議会議場

参加児童 18名

エ 青少年海外派遣

中学生を海外に派遣し、その国の歴史を学び、文化及び風土に直接接し、人々と交流することによって、相互理解を深め、将来国際的な視野に立って活躍できる人材の育成を図ることを目的に実施した。

応募状況

学 校 名	男 子	女 子	計
福生第一中学校	3	12	15
福生第二中学校	2	7	9
福生第三中学校	12	12	24
私 立 中 学 校	4	7	11
計	21	38	59

派遣者（男子4名・女子8名）

氏 名	学 校	学 年
合 田 浩 平	福生第一中学校	3
松 尾 春 奈	福生第一中学校	2
浅 田 知 咲	福生第一中学校	3
鵜 野 貴 洋 恵	福生第二中学校	2
淀 川 翔 子	福生第二中学校	3
斎 藤 直 輝	福生第三中学校	2
江 村 遼	福生第三中学校	3
鈴 木 勝 貴	福生第三中学校	3
柳 本 裕 美	福生第三中学校	3
田 部 井 幸 子	学芸大付属小金井中学校	2
新 井 愛 美	東京純心女子中学校	3
村 木 泰 子	東京純心女子中学校	3

派遣日程・場所 7月23日(月)～8月5日(日) 14日間

アメリカ合衆国カリフォルニア州・ユタ州・アリゾナ州

帰国報告会 8月20日(月) 午後3時から

商工会3階302会議室

オ 第8回福生市青少年の意見発表大会

中学生・高校生が日常生活を通じて考えていること、体験などを自由に発表することにより、自立心、創造性、社会性を育てる機会とするとともに、広く一般市民が中学・高校生の意識や行動に対する理解を深め、青少年健全育成の充実に資することを目的に実施した。

日 時 平成13年11月3日(祝) 午後2時から

場 所 市民会館小ホール

発 表 者 市内在住中学生・在学高校生 16名

発表主題 幼児虐待について、私のボランティア体験、みんな違ってみんないい、アルバイトを通して、部活、心のバリアフリー、人との出逢い・関わり、老人のとこ屋、気になる言葉、特別な夏休み、今をここに、生きること、この腐敗した世界、運命、私達が失っていくもの、優しい心

主 催 福生市青少年問題協議会・福生市教育委員会

カ 青少年問題シンポジウム

日 時 平成13年12月9日(日) 午後2時から

会 場 さくら会館3階ホール

主 題 中学生と話そう 地域ぐるみで

意見発表 市内中学生18名

基調提案 高水 清安氏(青少年育成地区委員会会長)

第1分科会司会 加藤 育男氏（福生一中PTA会長）

第2分科会司会 田村 正秋氏（福生二中PTA会長）

第3分科会司会 川辺 進氏（社会福祉協議会理事）

キ 青少協だよりの発行

青少年健全育成のための事業のPR・報告、その他各種の情報提供を行うため、年4回発行した。

ク 青少年健全育成PR用品の配布

「いじめは絶対にゆるされないことです」というアピールを刷り込んだシャープペンの芯を各地区委員会を通じて配布した。

ケ 第10回ふっさ輝きフェスティバル

「家庭の日」推進・拡大を目指し、実施した。

日 時 平成13年5月20日（日）

場 所 多摩川中央公園

参加者 12,000人

内 容 模擬店（やきそば、フランクフルト、ポップコーン、ジュース、かき氷、フライドポテト、駄菓子）

軽スポーツ（バスケットボール、ピッチングボール、ミニサッカー、グラウンドゴルフ）

ゲーム（輪投げ、パズル、ダーツ、ティーボール野球、パーフェクトストライク）

体験コーナー（一輪車、巣箱作り、リムころがし、らくがきコーナー）

その他（小動物園、ミニSL）

主 催 福生市青少年育成地区委員長会

コ 軽スポーツ&とん汁会

「家庭の日」推進・拡大を目指し、各地区委員会の協力のもと実施した。

日 時 平成13年11月18日（日）午前10時から午後2時

場 所 多摩川中央公園

内 容 軽スポーツ（PK戦、ピッチングボール、遠投、ボーリング、バスケットボール、ゲートボール、なわとび、輪投げ、パズル、ドッジボール）

体験コーナー（一輪車、べいごま、ペタンク、ウォーターショット、つなひき、バウンドテニス、ティーボール野球）

とん汁

参加者 約1,800名

主催 福生市青少年育成地区委員長会

サ 視察研修

各地区委員長や関係者が見識を深め、非行防止、青少年の健全育成を目指し、視察研修を実施した。

日時 平成13年10月23日(火)

場所 久里浜少年院(横須賀市長瀬3-12-1)

参加者 37人

シ その他の事業

○キャンプ用品の貸出

○「家庭の日」推進事業

○夜間一斉パトロール(8月25日実施)

○環境浄化運動

8 IT講習

5月から12月までの8箇月にわたりIT講習初心者パソコン教室を実施した。

実施コース 102コース(午前32、午後38、夜間32コース)

各コース定員20人

内容 パソコンの操作方法、初歩的な文書作成及びメール、インターネットの体験

参加者 1,819人

場所 福生市プチギャラリー第三展示室

9 集会施設の利用状況

(1) 扶桑会館利用状況

区分 月	集 会 室		和 室		小 会 議 室		保 育 室		合 計			
	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	使 用 料	
											件 数	金 額
4	46 ^件	1,198 ^人	26 ^件	359 ^人	20 ^件	142 ^人	29 ^件	279 ^人	121 ^件	1,978 ^人	36 ^件	43,200 ^円
5	43	707	22	219	13	97	30	331	108	1,354	37	46,400
6	50	738	25	317	16	137	37	398	128	1,590	41	54,300
7	47	869	33	519	16	159	28	346	124	1,893	30	42,800
8	45	896	25	333	14	180	21	314	105	1,723	18	26,800
9	47	743	29	336	17	149	28	377	121	1,605	25	35,800
10	48	797	28	359	16	127	32	345	124	1,628	27	36,500
11	50	763	25	288	24	206	32	350	131	1,607	23	32,000
12	41	863	22	358	12	221	22	318	97	1,760	17	19,700
14年1	41	702	19	229	14	178	20	264	94	1,373	31	44,900
2	43	772	30	334	15	180	26	423	114	1,709	27	39,300
3	52	1,063	25	288	18	223	31	370	126	1,944	27	44,100
合 計	553	10,111	309	3,939	195	1,999	336	4,115	1,393	20,164	339	465,800

(2) かえで会館利用状況

区分 月	集 会 室		和 室		会 議 室		合 計			
	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	使 用 料	
									件 数	金 額
4	34 ^件	379 ^人	36 ^件	310 ^人	7 ^件	133 ^人	77 ^件	822 ^人	19 ^件	19,200 ^円
5	31	273	36	261	3	85	70	619	16	14,700
6	45	374	38	348	10	121	93	843	17	17,400
7	33	500	38	404	8	182	79	1,086	10	9,600
8	23	165	6	40	28	203	57	408	15	12,900
9	28	302	30	253	7	108	65	663	14	11,100
10	35	296	31	232	10	107	76	635	20	16,500
11	34	309	42	384	16	188	92	881	14	16,500
12	22	246	31	277	12	129	65	652	15	14,400
14年1	27	302	30	219	13	176	70	697	16	18,900
2	28	217	21	161	12	87	61	465	16	17,700
3	40	341	40	313	21	268	101	922	23	20,400
合 計	380	3,704	379	3,202	147	1,787	906	8,693	195	189,300

10 展示施設の利用状況

(1) プチギャラリー利用状況

(建築延床面積 679.45 m²)

区分 月	第一展示室		第二展示室		第三展示室		合 計			使 用 料
	利 用 件 数	利 用 日 数	利 用 件 数	利 用 日 数	利 用 件 数	利 用 日 数	延利用 件 数	延利用 日 数	入場者数	
4	6 件	22 日	3 件	5 日	1 件	1 日	10 件	28 日	2,233 人	165,000 円
5	5	25	4	10	1	21	10	56	2,437	235,000
6	6	24	6	11	1	26	13	61	2,235	290,000
7	6	23	6	9	1	21	12	32	2,649	65,000
8	7	25	5	8	2	22	14	55	1,632	60,000
9	5	26	5	5	1	17	11	48	2,624	50,000
10	7	24	5	8	1	18	13	50	2,663	350,000
11	6	26	4	4	1	18	11	48	2,179	210,000
12	5	20	5	16	1	12	11	48	2,039	125,000
14年1	6	21	4	6	0	0	10	27	1,514	60,000
2	6	24	6	12	2	2	14	38	2,450	125,000
3	5	27	6	14	1	1	12	42	1,975	165,000
合 計	70	287	59	108	13	159	141	533	26,630	1,900,000

(2) 展示内容

(単位：件)

内 容	件 数	内 容	件 数
絵 画	22	陶 芸	3
写 真	12	盆 栽	2
手 芸	5	絵 手 紙	1
書 道	4	美 術 工 芸	2
フラワーアレンジ	2	そ の 他	16